

地球人口の5分の3を抱える地域。 물론 나는 알고 있다 내가 운동보다도 운동가를

술보다도 술 마시는 분위기를 더 좋아했다는 걸 'मीरां' के प्रभु सदा सहाई

राखो विघन हटाय । भक्ति भाव में मत्त होती गिरधर पै बलि जाय ॥

Bhinneka Tunggal Ika Keabadian Yang Maha Esa Kemanusiaan

Yang Adil Dan Beradab Pancasila Indonesia Keadilan Sosial Bagi

Seluruh Rakyat 世界のすべての宗教を尊重した地域。渭城朝雨裊輕塵客

舍青青柳色新勸君更盡一杯酒西出陽關無 Tiếp tục đẩy mạnh

công cuộc đổi mới. Công nghiệp hóa, hiện

đại hóa. Phát huy nội lực nâng cao hiệu quả hợp tác

quốc tế. Thực hiện mục tiêu " dân giàu nước mạnh "

ถึงแม้เจ้า จะสร้างกฎ มาใช้คนเป็นทาส เจ้าก็เป็นคน เจ้าเป็นใคร

เจ้าเป็นคน คนเป็นใคร คนไม่ทาส 無限の可能性とエネルギーを秘めた地域。

سليم تاي شيخ كمي فزا شب هل ازين توكشت توف الف تاي اوست توم حن رايم حن كين

متاع لوح وقلم چهن گئی تو کیا نم ہے کٹون دل میں ڈبولی ہیں انگلیاں ہیں زبان پر ہر می سے تو کیا کرکھدی ہے ہر ایک حلقہ زنجیر میں زباں ہیں

فَمَا نَبِكِ مِنْ ذِكْرِي حَبِيبٍ وَ مَنْزِلِ بَيْتِنَا الْوَيْ بَيْنَ الدَّخُولِ فَخْرٍ مَلِي

فَتَوْضِعَ فَايَقْرَأُ لَمْ يَعْفُ رَسْمُهَا طَسَجَتْهَا مِنْ جَنُوبٍ وَ شَمَائِلِ

تَرَى بَعْرَ الْأَرَامِ فِي قَرْمَاتِهَا وَقَبَعَانِهَا كَأَنَّهُ حَبُّ فُلْفُلٍ

كَأَنِّي عِدَاةَ الْبَيْنِ يَوْمَ تَحْمَلُوا لَدَى سَمُرَاتِ الْحَيِّ نَاقِبٌ حَنْظَلُ

アジア新発見・世界再発見

大東文化大学 国際関係学部

ぼくらは、
アジアの地理を
知らない。

アジアなのだらう。が、 どからどくまでが、

漢や唐、チンギス・ハンで知られるモンゴル帝国、
アンコール王朝など多くの有力国家を世界史に
刻んできたアジア。しかしどこからどこまでをアジアと
呼ぶのかは、国によって概念が異なるように今も議論が
分かれる。ただ21世紀、アジアが私たち日本人にとって
これまで以上に重要となることは、間違いない。

だから
おもしろい
アジア

広大で多種複雑なアジア。歴史と未来、
光と闇、課題と可能性が同居する地域だ。

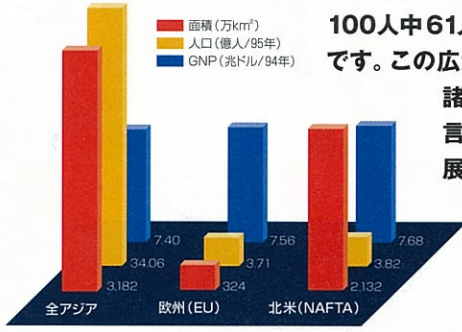
世界人口の6割を占めるアジア。
それは、世界を映す縮図だ。

ひとつの国に複数の言語。
アジアはことばの宝庫だ。

人口が1億人を超える国は、世界で10ヶ国。では、そのうちアジアの国は何ヶ国でしょう？ 答えは6。地理的にも人口的にも、世界で大きなパーセンテージを占めるアジア。実際に地球上の人間の100人中61人がアジア人になる計算です。この広大な地域はまた、世界の諸現象を映す「縮図」とも言えます。アジアには、「発展途上」のイメージが付きまっていますが、1995年の1人あたりのGNP(年収)は、396万円の日本を筆頭にシンガポール267万円、香港

日本なら、どこにいても日本語は当たり前のように通じますよね。しかし、日本のような国はアジアの中では特殊です。たとえばインドネシアでは、国語のインドネシア語のほかにも400以上のことばが話されています。これは標準語と方言の関係ではなく、文法も語彙もちがう別個の言語。シンガポールでは中国語、マレー語、タミル語、英語が公用語で、社会生活の必要に応じて使い分けられています。インドでは言語人口10万人以上の言語が実に80近くあり、紙幣には15(※英語を含め)の言葉が印刷されているほど。また、中国の北京語・上海語・広東語は、英語とフランス語以上の差があるといわれます。世界一の多言語、そして多宗教、多民族社会であるアジア。その多様性は、永い歴史の中で、絢爛たる文明を築いていく過程で育まれました。またそれゆえに伝統に阻まれ、近代化に遅れたのも事実。しかし、この20~30年から21世紀にかけて伝統文明を母とし、アメリカの物質文明と情報文明を父とした新しい文明が築かれる可能性があります。古めかしい。だけど、とびきり新しい。それが、アジアの魅力です。

●欧州・北米をしのぐアジアの巨大化

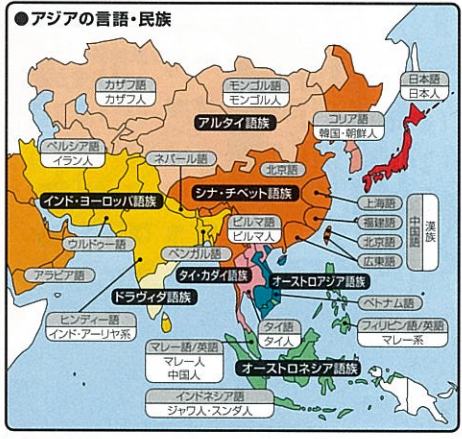


「世界国勢図会 96/97 (原資料:世界銀行データ)」「世界年鑑 '97」のデータから計算、作成

230万円で、イギリスの187万円を超えるほど。先進国と呼ばれる欧米諸国を豊かさで上回る国も出現しているのです。その一方で、ネパールは2万円、バングラデシュ2.4万円で、これは世界で最も所得水準が低いアフリカの一部の国に匹敵。また、教育水準を見ても人口100人あたり40人以上が大学に進学する「教育先進国」に、アジアだけで日本、韓国、台湾の3つがエントリー。その一方で中国のように、大学進学率が4%という国も混在しています。アジアは世界的に進んだ面、遅れた面、ふたつの横顔を持っているのです。



国際関係学部 学部長
小島 麗逸 教授



「文化人類学辞典」「THE LIVE ATLAS OF THE WORLD」「標準高等地図」などより作成

●アジアの国境
アジアの地図は、植民地支配、第二次大戦後の東西対立、宗教紛争で塗り替えられてきた。アジアの国境のほとんどは、支配国から独立する争いの中で強制的にひかれたものだ。自ら決めたのはパキスタン~インド、バングラデシュ~インドの国境だけだが、パキスタン~インドは抗争を繰り返している。

●アジアの民族
アジアの民族は宗教よりもさらに複雑だ。たとえば中国は漢民族が9割を占めるが、残りは55もの少数民族で構成される。インドネシアには300にものぼる少数民族がいる。わずかな民族で構成されるのは日本・韓国・北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)くらいのものだ。

●アジアの教育
アジアの急成長の陰には教育の改革があった。アジア各国は国家財政の多くを教育に注ぎ、積極的に言語の標準化政策に取り組んできた。その結果、識字率はおおむね80%台に。インド、台湾、シンガポールなどではパソコンを使った教育も普及している。

ぼくらは、
アジアの経済を
知らない。

「輝けるアジア」 「アジアの危機」 「真実は、どちらだ。」

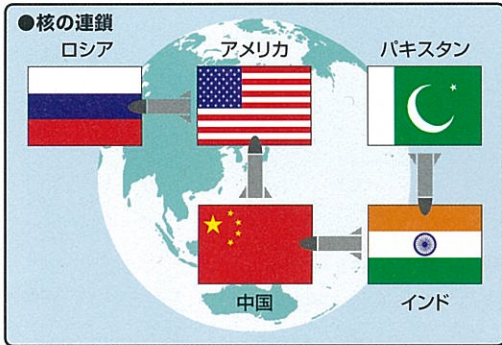
日本を除くアジアでも
港湾、空港、通信などのインフラは、
急ピッチで開発が進んでいる。
地域内の貿易量は対米、対欧を大きく上回る。
アジアは、生産から消費まで地域内でまかなう自立経済圏だ。



世界中の「期待」と「不安」を集めて、ダイナミックに変貌するアジアの政治と経済。

絶えざる紛争の火種。拡大するアジアの軍備力。

インドが1998年の5月11日と13日に核実験を行ったニュースは、世界に衝撃を与えました。しかもまもなく、世界は二度驚きました。インドに対抗するために、パキスタンが続げざまに同月の28日と



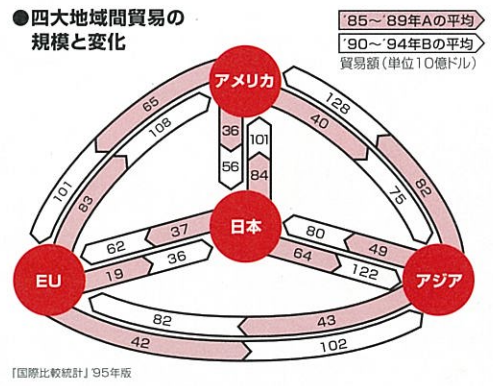
30日に核実験を行ったからです。一見、印パ二国間だけの問題に見えるこの事件。実は世界レベルの危機をはらんでいます。敵対関係にあるもののパキスタンに

対抗するのに核兵器は必要ないというのが、インドの見解。インドの核は中国に向いています。その中国の現在の標的はアメリカ。当のアメリカは東西対立という冷戦構造の中で、ソ連との核競争に勝利することを目指してきました。こうして、世界をつなぐ核の連鎖ができあがります。アジアでの紛争・対立は単なる地域紛争ですまない可能性もあるのです。印パ両国は独立以来の対立があり、現在核戦争が最も懸念される地域。冷戦時代は米ソ対立が軸となっていました。冷戦後の世界ではイデオロギーの対立より領土紛争や民族・宗教紛争が頻発しています。世界を知るためには、まずアジアを知ることが重要なのです。

世界一の成長率。突然の通貨危機。ダイナミズム溢れるアジア経済。

アジアの通貨危機に世界が揺れています。高水準の経済発展を続け、数世紀ぶりに世界史の表舞台に躍り出たかのように見えたアジア。ところが突然の「経済危機」は、まずタイで表面化し、東南アジア全域へ。やがて韓国をはじめとする工業化の進んだ東北アジアにまでも波及。瞬間にアジア全域

を巻き込みました。かつて1950年代には「アメリカがくしゃみすると日本が風邪をひき、アジア諸国は肺炎になる」と言われるほど、欧米に依存していたアジア。ところがいまや立場は逆になりつつあります。



国際関係学科 学科主任
広瀬 崇子 教授

それほど彼らの経済もアジアに依存しているのです。アジア経済は、市場として、製造の拠点として重要な地位を占めています。また、インドをはじめコンピュータ産業などは世界をリードするほどの実力をすでに持っています。アジアの経済は世界経済に良くも悪くも、大きな影響を及ぼすまでに成長したのです。長い植民地支配、第二次大戦、東西冷戦を経て、自由経済に足を踏み入れ、ようやく30年前後。いま、この時間にもアジアは急速度で動いています。

●アジアの繁栄
1980年代に東西冷戦が終焉し、軍拡競争やイデオロギー支配が緩和されると、国力の基盤は領土や軍勢力から経済へと移行した。アジアでも本来の近隣との関係が生まれ、一見、古代の物々交換のように地域内での貿易が活発化。自立経済圏が形成された。

●インド-パキスタンの紛争
1947年にインドとパキスタンは、イギリス植民地から「兄弟国家」として分離独立した。しかし、分離当時から領土や宗教をめぐる紛争が絶えない。両国は今も国境付近で争い続け、多くの犠牲者を出している。

●アジアのハイテク
インドは0(ゼロ)を発見した国であり、理数系にすぐぶる強い。すでにコンピュータソフトの売上ではアメリカに次いでいる。香港やシンガポールのパソコンやファックスの普及率は、日本と同等かそれ以上。インドネシア、タイ、フィリピンも情報基盤整備に躍り出た。

ぼくらは、
アジアの文化を
知らない。

アジアには、 幾つもの宗教や民族が 混在しているのだから。

ヨーロッパや北米には、
キリスト教徒が圧倒的に多い。
これに対して、アジアで信仰されている
宗教はあまりにも多様だ。

だから
行きたくなる
アジア

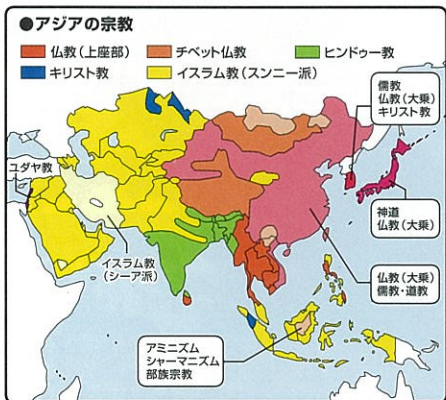
さまざまな宗教。多くの民族。あらゆる言語。
アジアは世界一の多様性社会だ。

切り離しては考えられない、
アジアと宗教の密接な関係。

国や国籍を越えはじめた、
アジアの文化。

アジアの人々の生活を律しているものに宗教があります。私たち日本人の多くは、宗教と冠婚葬祭の時にお世話

宗教に代表されるような「伝統的なアジア」から目を転じてみると、新しいさまざまなアジアが見えてきます。新しいカルチャーの発信地としてのアジアもそのひとつ。たとえば、シンガポールやインドネシア発のポップ・ミュージック、中国・香港、インドの映画などがそう。こうしたカルチャーは、年々ボーダレス



になる程度の関わりしか持っていませんよね。しかし、男子が一生に一度は出家して僧として修行を積むことが習わしとなっているタイのように、アジアの人々にとって宗教は生活に深く根を下ろしたものです。アジアはいわば「宗教の見本市」のような地域で、仏教、イスラム教、

宗教に代表されるような「伝統的なアジア」から目を転じてみると、新しいさまざまなアジアが見えてきます。新しいカルチャーの発信地としてのアジアもそのひとつ。たとえば、シンガポールやインドネシア発のポップ・ミュージック、中国・香港、インドの映画などがそう。こうしたカルチャーは、年々ボーダレス化しています。日本でも、CDショップのワールドミュージックコーナーにエイジアン・ポップが数多く登場。また、1年中どこかで、アジアの踊りや演劇や映画の催しものが開かれています。同様に、日本からアジアに向けて発信されるものも多くなっています。

アジアを代表するポップ・アーティスト	
日本	小室ファミリー、酒井法子、チャゲ&飛鳥らはアジアでも有名
韓国	イ・ミンジャ、チュ・ヒョンミ、クー・チャンモ
中国	ツイ・ジェン、アイ・ジェン、ウー・シャウイン
台湾	チェン・スウホア、チョウ・ファジェン、ワン・チェ
フィリピン	フレディ・アギラ、レジーナ
シンガポール	ディック・リー、クリス・ホー
インドネシア	エルフィー・スカエシ
タイ	ナット・ミリア

キリスト教を始め、ヒンドゥー教、儒教など、世界の主要な宗教がほとんど顔をそろえています。また、生きとし生けるもののすべてに神が宿ると考える精霊信仰も、広く見られます。このように多様な宗教があるために、たとえばインドにおけるヒンドゥー教徒とイスラム教徒の対立、フィリピンのモロ(イスラム教徒)の分離独立運動のように、宗教の違いはしばしば紛争の火種になってきました。しかし、ポロブドゥールやアンコールワットを生み、豊かな精神文化を育んできたのも、こうした多様な宗教なのです。アジアの宗教の複雑さは、アジアの奥深さそのものです。



なかでも日本製のアニメ、漫画。いまや、「どらえもん」はアジアの子供たちの日常生活にすっかり定着しているほど。かつては、海外で紹介される日本文化と言えば生け花、茶道、歌舞伎でしたが、いま、アジアで日本文化を象徴するのは、これらのポップ・カルチャーなのです。境界をなくしつつあるアジアと日本。身近になったアジアの文化から目と耳が離せません。

国際文化学科
押川 典昭 教授

●アジアの映画
話題となった映画「不夜城」の主演俳優・金城武は、父親が日本人、母親が台湾人。彼自身、日本語、北京語、広東語、英語などを自在にあやつる。そもそも「不夜城」そのものが、原作は日本人、監督は中国人、製作は日本の会社というものだ。

●アジアのキリスト教
カトリック系もプロテスタント系も、植民地支配が始まった15世紀末頃にヨーロッパ諸国から伝えられた。なかでもフィリピンはその影響を色濃く受け、8割を超える人がキリスト教徒である。

●アジアの文化
アジアの文化でおもしろいのは、言葉がまず音声によって伝えられるという点。詩は、ひとりで黙読するのではなく大勢の前で読んで楽しむもの。インドネシアの詩人レンドラは、ロックバンドとジョイントコンサートで何と15万人以上の聴衆を集めた。

ぼくらは、
アジアの未来を
知りたい。

アボダ ジクカ アララ には 学ア ぶ。ジ アを 学 ぶ。

大東文化大学の国際関係学部と
他大学の同名学部・学科との大きな違いは
東アジア・東南アジア・南アジア・西アジアに絞った
具体的な地域研究を柱に置いているという点だ。



だから
学びたくなる
アジア

アジアを捉える、国際関係学部。 新しい世界が、日本が、 未来のじぶんが見えてくる。

アジアの一員として学ぶ。
21世紀の国際人として学ぶ。

ひとことと言えば、国際関係学部は「アジアを学ぶ」学部です。まず、アジアを理解するのに必要なものは、アジアのことば。あなたが入学後決めなければならないのは、アジアの9言語のうち、どの国のことばを学ぶかということ。1年次では、ことばの基礎を学ぶと同時にその言語が使われる国のこと、そしてその国を

含むアジア全般の知識を身につけていきます。2年次ではことばの他、1年次に選んだ9言語を4つの地域に分け、その地域について学びます。中国語・

韓国語を専攻すれば「東アジア」

を、ベトナム語・タイ語・インドネシア語なら「東南アジア」を、ヒンディー語・ウルドゥー語であれば「南アジア」を、そしてペルシア語・アラビア語を選べば「西アジア」が今後の学問・研究の対象に。その中心は、国際関係学部が政治・経済・社会を柱とし「法学・政治学分野」「経済学・社会学分野」について、国際文化学科が文化・歴史・芸術を柱とし「文化・歴史分野」「文学・芸術分野」について、さらに地域研究を探究します。国際関係学部は、ことばだけでなく、地域を地域としてトータルに捉えようとするスタイルが特徴です。

五感でアジアを感じれば、
もっとリアルなアジアが見えてくる。

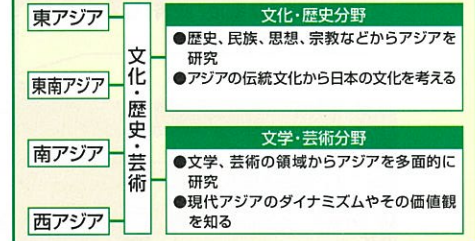
「百聞は一見にしかず」。それは、国際関係学部の理念でもあります。ことばやその国自体を深く知るには、やはり現場を見て肌でその国の空気を感じることが肝心ですよね。国際関係学部の特徴のひとつに2年次に行われる海外研修があります。これは、大学で学んだことを実践できる機会。実際に現地に行き、3~4週間にわたり9ヶ国10校の提携校でそれぞれ研修を受けられるのです。

さらに短期間の研修だけで物足りなければ、海外留学制度も。これは、1年間の留学で最高30単位を卒業単位に組み入れるシステム。だから、休学や留年の心配なく安心して海外で学べます。そして、もうひとつの学部の特徴は、2年次から4年次まで興味のある分野を学ぶゼミ。学科の所属に関係なく、学部のどの演習も履修可能。つまり、40人を超える教員から自分の興味と関心に沿ったゼミが選べるのです。原則として定員は10名。だから、深く濃く、学べます。国際舞台で活躍するための知識と、実践的なコミュニケーション能力が、この学部で過ごす4年間であなたにも身につくはず。

国際関係学科



国際文化学科



国際文化学科 学科主任
岡田 宏二 教授

●英語教育に重点

もちろん、国際関係学部はアジアのことばだけに終始する学部ではない。英語はもはや世界共通語だ。1年次からいろいろな角度からの英語関連講義をカリキュラムに盛り込み、地域の言語プラス1を身につけていく。

●実践的な講義群を設置

社会に出て、即実践に使える実用講義群も充実している。たとえば、簿記、会計、経営、コンピュータ関連科目など。アジアのエキスパートでありながら、セネラリストでもある。それが国際関係学部卒業生の特徴だ。

●多彩なゼミ

ゼミの運営は専任の教授の裁量によるところが大きい。たとえば、いくつかのゼミは完全英語制。日本語を禁止しているのだ。なかには、地域の食文化の研究というテーマで専門料理店を訪ねる「おいしい」ゼミも。

一步一步、階段をのぼるように。 大地に水がしみこんでいくように。 確実に、着実に、知識が身につくカリキュラム。

「国際政治学」「国際法」など、法律、政治、行政などを基軸にアジアにアプローチします。

「国際経済論」「社会学概論」など、経済学、社会学からアジアと国際社会を考えます。

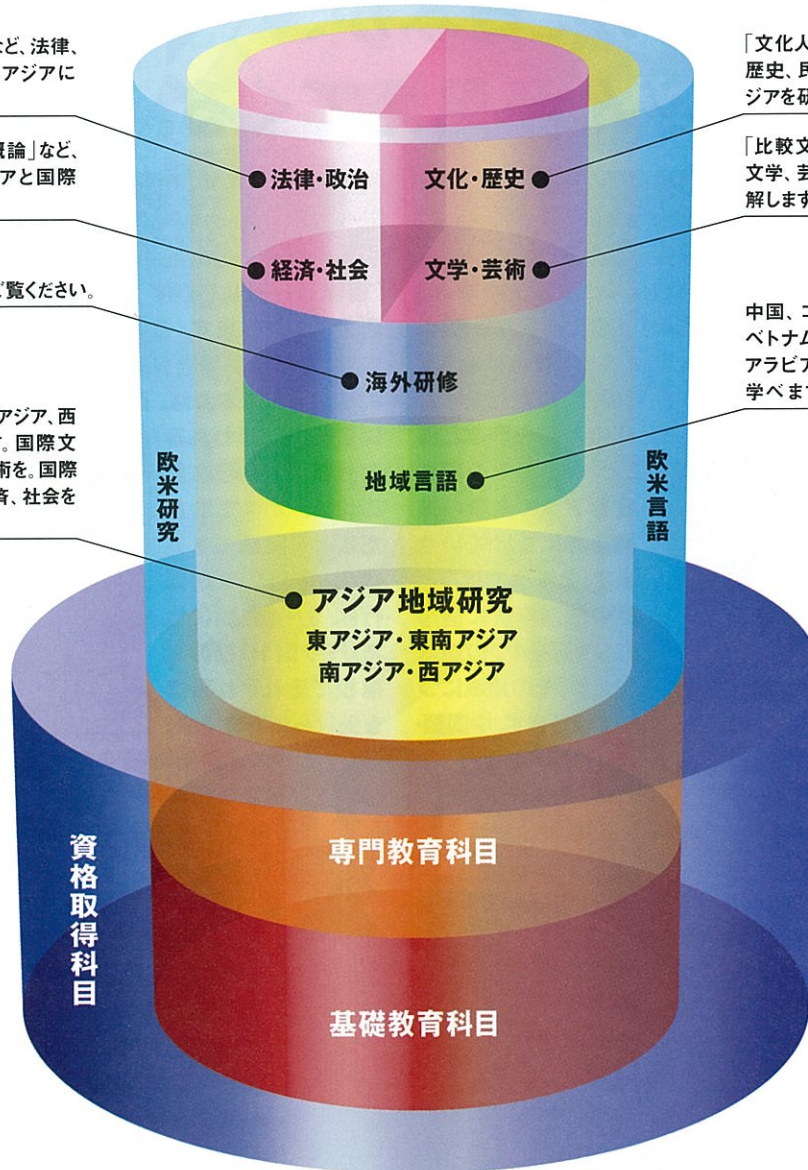
くわしくは15・16ページをご覧ください。

東アジア、東南アジア、南アジア、西アジアの4地域研究です。国際文化学科は文化、歴史、芸術を。国際関係学科では政治、経済、社会を学んでいきます。

「文化人類学」「比較宗教学」など、歴史、民族、思想、宗教などからアジアを研究します。

「比較文学論」「美術史概論」など、文学、芸術の領域からアジアを理解します。

中国、コリア、インドネシア、タイ、ベトナム、ヒンディー、ウルドゥー、アラビア、ペルシアの9言語から学べます。



国際関係学部のカリキュラムの特色は、アジア4地域の地域研究と言語の習得です。学部共通で学ぶ基礎教育科目を土台に、専門教育科目で高度な知識と技能を身につけていきます。国際関係学科には法律、政治、経済、社会といった社会科学分野の専門教育科目が多く配置され、地域研究を行っていきます。その上で、法律・政治の知識を専門に学ぶ「法学・政治学分野」と、経済・社会からアジアを分析する「経済学・社会学分野」の2分野について、興味や関心に沿った選択科目を履修していきます。一方、国際文化学科では文化、歴史、芸術、文学といった人文科学分野の専門教育科目を学びます。その上で、歴史や民族、宗教などの科目を多数配置した「文化・歴史分野」と文学や美術、音楽などからアジアを知る「文学・芸術分野」の2分野で選択科目を履修していきます。この選択科目群は学科・分野を問わず、履修することも可能です。また、英語をはじめとする欧米言語群、社会で役立つ実用講義群を自由科目で数多く配置しているのも、国際的かつ実践的な人材を育成する国際関係学部の特徴です。

履修モデル① (国際関係学科 Aさん)

時限	月	火	水	木	金	土	
1 学年	1	国際関係論	口語英語	アジア概論			
	2	中国語 1	研究方法論 各国事情論 (中国)	世界の地域と社会 (ヨーロッパ) 世界の地域と社会 (世界の観光)	心理学 (心理学概論) 心理学 (暮らしのなかの心理学)	社会学 (平和学A) 社会学 (平和学B)	
	3	総合体育 I 総合体育 II	コミュニケーション英語 1	生命科学 (生命工学基礎A) 生命科学 (生命工学基礎B)	地域文化研究 (アメリカ文学と自然) 地域文化研究 (アメリカ文学と日本文学)	中国語 2	中国語 3
	4		総合英語 1		法学概論		
	5				日本国憲法		
2 学年	1	中国語 4	世界経済史		東アジアの歴史		中国語 6
	2	総合英語 2	東アジアの経済	社会学概論	都市社会学	中国語 5	
	3	フランス語	コミュニケーション英語 2			食文化論 東洋史 (中国の政治制度)	
	4		環境と資源		演習 I	社会人類学	
	5		海外研修 (北京)				
3 学年	1			東アジアの社会	文化人類学		
	2	東アジアの政治	英語で読むアジア 英語で考える国際社会	文化交流史 映像文化論	多国籍企業論 エネルギー問題		
	3	演習 II	人文地理学	人口論 アジア経営者論	芸術の歴史 (やまと絵と和風建築) 企業と雇用		
	4		文章表現法	環境と資源 (資源環境論の基礎A) 環境と資源 (資源環境論の基礎B)			
	5						

履修モデル② (国際文化学科 Bさん)

時限	月	火	水	木	金	土	
1 学年	1	経済学	総合英語 1	西洋史 (ヨーロッパ(中世史)) 西洋史 (ヨーロッパ(近世史))	アジア概論	アラビア語 2	アラビア語 3
	2	アラビア語 1	研究方法論 各国事情論 (エジプト)	文化人類学		東洋史 エネルギー問題	法学
	3		総合体育 I 総合体育 II	倫理学 社会学	口語英語 1	哲学	
	4			コミュニケーション英語 1	比較文化論		
	5						
2 学年	1	西アジアの文化	西アジアの歴史		アラビア語 5	文化人類学	
	2	アラビア語 4	イスラム教文化 西アジアの文学		図書館情報学概論	アラビア語 6	
	3	総合英語 2	コミュニケーション英語 2		歴史学概論		
	4	スペイン語初級講読 スペイン語初級講読 II	比較宗教学		演習 I	比較民俗学	
	5		海外研修 (エジプト)				
3 学年	1	日本の地域と社会 西洋史	英会話上級 服飾論				
	2	地球科学	地域文化研究 (ユダヤ人の歴史と文化) 地域文化研究 (ホロコーストの芸術と文化)		食文化論 アジア芸術論	芸術の歴史A アジアの女性問題	
	3	アラビア語 I	地域文化研究 (フランスの演劇) 地域文化研究 (現代思想と文学)	ユーラシア事情	アジアの宗教と社会 地域文化研究 (アメリカ文学と日本文学)	アラビア語 II	
	4		文章表現法		西アジアの芸術	海外留学準備講座	
	5				演習 II	英検準備講座	

基礎教育科目

総合教育科目

専門教育科目
必修科目

専門教育科目
選択科目

専門教育科目
自由科目

次代の国際人として、広く学ぶ。

アジアをはじめ、真に開かれた21世紀の国際社会で活躍するには、コミュニケーションの手段としての英語や、コンピュータ技術の修得が欠かせない。さらに世界の人々と語り合うには、自国の文化や歴史、社会、環境問題への深い理解も必要である。国際関係学部は、それらの教育にも力を入れている。

国際関係学部のおもしろ講義科目抜粋

コミュニケーション英語

英語によるリスニングに焦点をあてて、実際の口頭練習や聴解練習により実用的な英語の習得に重点を置きます。さらに、生きた英語として「コミュニケーションの場における言語の基礎的な知識と運用能力」を身につけることを目的としています。

英語で読むアジア

英語によるリーディング、ディスカッションを行ない、アジアの文化を学んでいきます。なかでもディスカッションでは、今日のアジアに何が起きているかなどをテーマにして、話し合い、より深い理解を目指していきます。

国際ビジネス英語

ビジネスの世界で、基本的に知っておくべき英語を身につけることを目的とします。たとえば、リスニングを中心に、求職から面接、就職、電話での応答、顧客訪問など、オフィスでの会話を主に、簡単な文書・メモの書き方についても学んでいきます。

異文化間コミュニケーション

国際化が急速に進むなか、異文化を超えたコミュニケーションや相互理解の必要性がますます高まっています。本講義では、異文化間コミュニケーションの観点から「文化の多様性」「カルチャーショック」「価値観」などについて学んでいきます。

英語で考える国際問題

ここでは、英語によるリーディング、ディスカッションのさらなる上達を目的としています。テーマも環境や人種問題といったものにまで触れ、時間の許す限り討論をしていきたいと考えています。

世界食糧問題

1970年に91%であった日本の食糧自給率は、1993年には66%に低下。わたしたちの食生活はますます輸入に頼る傾向にあります。第二次世界大戦後、半世紀にわたる食生活の変遷と、世界の食糧事情の変化との相互関係を総合的に学んでいきます。

国際環境・公害問題

私たちの「便利で快適な」生活は、どこかで人びとに犠牲を強いています。97年、インドネシアのカリマンタン島や、スマトラ島で発生した大規模な森林火災は、企業が油ヤシ農園を開くために森に火を放ったのが原因。そして農園では農薬が散布され、土壌や水を汚染。この油ヤシから造られた石けんや洗剤が「環境にやさしい」商品として売られています。こうした矛盾を踏まえ、今、私たちの生活自体こそを問うべきです。

エネルギー問題

エネルギーの問題を、現代物理学の「エントロピー」の概念をおとして学んでいきます。エネルギーとエントロピー、産業革命のエントロピー基礎、森林資源と化石燃料、石炭と石油、原子力発電問題などのテーマに則して講義を進めていきます。



商業簿記

基礎から簿記を学びたいという人を対象にした講義です。まず、商業簿記の基本である取引の範囲・取引の8要素(費用・収益・資産・負債・資本など)の認識における会計上の処理を中心にして、わかりやすく授業を進めていきます。

国際財務論

多国籍企業の国境を越えた事業は、ますます広がっています。この講義では、多国籍企業本社と海外子会社を通じた企業としての投資戦略、資金調達、資産管理などが中心的課題で、国際展開する事業体の企業財務・財務を中心に解説します。

会計実務

企業の財産および損益の状況(財政状態・経営成績)を明らかにするために必要な「決算時における会計処理」を中心に、財務諸表(P/L、B/S、W/Sなど)の作成を行ないます。さらに簿記検定試験に向けての練習問題にも組み込んでいきます。

経営管理論

この講義では、組織や事業を管理するということがどんなことなのかを考えていきます。たとえば、組織の運営方法、事業の具体的な進め方、また実際に企業のなかで行われている機能別管理にまで触れ、真に“経営すること”について考えていきます。

貿易実務

貿易実務の基礎知識を身につけることを目標とします。貿易取引の交渉から契約にいたるまで、貿易条件の基礎知識、船積と決済、とくに決済に関わる信用状、外国為替、海上保険などについて、具体例をあげながら入門的な講義をします。

コンピュータ実習Ⅰ～Ⅲ

コンピュータの基本操作から、データ処理などの実習まで幅広く講義を行ないます。文書作成からデータ機能の実習に、総合ソフトを使用。さらにインターネット利用など、情報処理全般を学びます。

日本語教授法

日本語を母国語としない人に日本語をどう教えていくか、本講義では、教える側が知っておくべき必要な知識・技能を身につけることを目的としています。教育の準備から実施までの過程を順に追い、さらに教科書などを使った展開も実践していきます。

留学生対象の日本講座

国際関係学部で学ぶ留学生が、日本語で日本の企業文化、経営について理解できるような講義内容です。具体的には、日本企業の戦略と経営、リスク管理などについて。またここでは、留学生の日本語の4技能の向上も図ります。